

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学籍番号	AA20001
・ 氏名	末次 健吾
・ 学部	工学部
・ 学科(コース等)	機械工学科
・ 学年(渡航開始時)	3年生
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	ドイツ
・ 都市名	ケンプテン (アルゴイ)
・ 留学先大学名	ケンプテン大学/ Kempten University of Applied Sciences
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input type="checkbox"/> 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) <input checked="" type="checkbox"/> 半年～1年 (2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) <input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 3年後期 <input checked="" type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 博士以上
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	もともとヨーロッパ地域には文化的に、また歴史的な興味から関心があったが、自分が自動車産業に関わることを志す中で、有力なメーカーを多く抱えるドイツにある協定校であることが非常に魅力的に映り、その地における自動車文化などからどのように製品が形作られるのかを知りたいと思った。加えて中欧に位置するドイツは陸続きにある他の国へのアクセスがシェンゲン圏のこともあって有利であり、色々な国を見て回りたい自分を満たしてくれると考えた。また、ドイツではもともと英語の話者人口が他の欧州諸国と比べて大きいことを知っていたので、英語能力の向上を目指す自分には適していた。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。(SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 休学をした <input type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得済み、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

留学先では英語・ドイツ語で講義が進められることを考慮し、あえて講義の科目数は(過去の自分と比べて)少なく履修することにした。自分の学ぶ専門分野の科目の多くは英語のテキストやテストが用意されているもののドイツ語で講義が行われていたため、2セメスターの交換留学プログラムの中では最初のセメスターで英語の人文科目を主に履修し、次のセメスターで専門科目に触れるように科目を選択していた。また、2つのプロジェクトワークが英語で開講していたので、それを1セメスターに1つ受講した。先述の人文科目は主に他学部で開講される英語科目を指すが、下記の英語科目④⑤の2つは講師が大学を離れたため、現在は開講していないと思われる。しかし経済や歴史、文化などの科目が英語で学べることは変わりなく、当然だがグループワークなどを経て学術的な内容に触れるため、英語の運用能力の向上には期待が持てる内容だと思う。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Machine Vision Project	単位数 (現地単位数) ECTS 5
科目概要	Faculty of Mechanical Engineering内にて2つ用意される英語でのプロジェクトワークの1つである。主に、Pythonでのプログラミングを介して画像認識について学び、それを実践的なシチュエーションで運用することを目的としている。プログラミングへの苦手意識があった自分だが、プロジェクトのミーティングでは教授やその研究室の学生などが丁寧に誘導してくれて、幸運にも他のメンバーの助けに恵まれたことで終わらせることができた。	
科目名②	Factory Simulation Project	単位数 (現地単位数) ECTS 5
科目概要	Machine Vision Projectと同様に、英語で行われるプロジェクトワークである。シーメンス社製のソフトウェアを使用して、工場のラインをシミュレートしどうすれば生産台数の目標が達成できるか、ということ学ぶプロジェクトだった。自分がそれまで触れてきた分野やソフトウェアとは毛色がことなる内容であったことから、プロジェクトを通して苦労していた覚えがあるものの、教授らのサポートが手厚かったことで無事に終わることができた。①とは異なり、個人別に進めるプロジェクトとしての側面が強いと思う。	
科目名③	Computer Aided Engineering	単位数 (現地単位数) ECTS 2
科目概要	上の概要にある、ドイツ語で講義が行われる専門科目の一つ。セメスターの最初の方で自分の不手際があったことでテキストもドイツ語のものを使って受講していたが、期末のレポートは英語で提出できたので幸いだった。内容はAnsysを使用し、構造力学的な解析を実践的に行っていくもので、各回の冒頭には解析に利用される理論についての説明がなされたり、ソフトウェアの機能の紹介がなされる。	
科目名④	Advanced Business English	単位数 (現地単位数) ECTS 5
科目概要	教養科目として開講していた英語科目である。CEFRIにおけるC1レベルのビジネス英語を学ぶことを目的としていて、その分野に特有な表現なども少なくない。難しい内容を対象に学ぶからか、講師による講義を楽しめるものにしてしようとする工夫が多くなされており、クラス内の学生と多くコミュニケーションを持った覚えがある。概要に合った通り、現在は担当の講師がその立場を離れてしまったことから開講していないと思われるが、新たに講師を迎えて再度開講しているかも知れないので要確認である。	
科目名⑤	English Academic Writing	単位数 (現地単位数) ECTS 2
科目概要	④と同様の英語科目である。ここではCEFR B2レベルの英語を運用して科学論文を書くための基本的な技術を学んだ。より具体的には論文やレポートの構成から各段落の構成などを経て、どのように表現するのが適切なのかといったことを勉強する。④と同じく現在は開講されていないかも知れないが、非常に有益な講義であり新しい担当講師を迎えていることは十分に考えられるので、確認が大事になる。	
科目名⑥	Deutsch Als Fremdsprache A1/A2	単位数 (現地単位数) ECTS 4
科目概要	留学生在がドイツ語を学ぶための科目である。CEFRのレベル別に講義が開講されており、また自分の能力に合ったレベルを選択して履修する形になるため、ドイツ語が既習の学生は初級レベルを飛ばして受講することが可能になっている。自分は渡航までにドイツ語の学習が十分でなかったため、挨拶や名乗り方から始めるA1レベルから受講していた。A2レベルまでの内容を終えた身としては、簡単な会話がこなせるようになったという自覚がある。	

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

もともと日本で学生フォーミュラの部活に参加していたこともあり、ケンプテン大学のチームであるInfinity Racingと時間を共にすることが多かった。決して強いチームではなかったと思うが、メンバー間の雰囲気は温和だったこともあり、快く参加することができた。日常的には留学生の多いアパートに暮らしていたので、他国からの留学生の友人・知人が多かった。また、講義で知り合ったドイツ人と食堂で昼食を食べることが頻繁にあった。ドイツの中でもバイエルン州は朗らかな人が多い風土として知られ、ケンプテン大学の国際部もイベントの企画に積極的なので、疎外感を感じることはめったになかった。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

結果から言えば、この留学で自分はやりたかったことができて大きく満足しているし、語学能力はもちろんだが精神的な成長を大きく実感している。自分は大学入学以前より留学を志していたものの、実際にこの交換留学プログラムを志願し、その準備をするのはかなり唐突なものになってしまった。それゆえに自分が日々の学習や部活をこなさなければいけない忙しさの中で手伝ってくれた人々には感謝してもきれない。先の志願理由は本心であるが、加えて自分の中にはコロナ禍で大学生活の半分近くを損なわれたことへのコンプレックスがこの留学における強い原動力となっており、またヨーロッパにおける情勢が不安定になる中で留学先を確定するのにも紆余曲折を経た。このような経緯から渡航時には準備不足を案じていたのだが、実のところ現地であていものは揃えられた上に国際部のサポートも手厚かったので杞憂だったと分かった。ただし、為替の変動や物価高の影響で1年の留学期間の間に支出が大きく増大したり、現地ですら生活していくための諸々の手続きの中にはあまり順調にいかないものもあった。特に留意したいのが健康保険であり、これは滞在許可を得るために契約が必須なのだが、法的保険とプライベート保険の2種類が存在し、また契約内容にも留意されたく、これらは渡航前によく調べておくこと良い。自分は法的保険会社のAOKを契約していたが、もしかすると芝浦工業大学から契約する海外渡航保険でも滞在許可が降りるかも知れないので、ケンプテン大学の国際部とも相談すると穴が無いと思う。しかし行ってからの楽しみはとて多く、自然豊かなアルゴイ地方に位置するために国際部がハイキングや交流パーティーなどのイベントを数多く催してくれるし、自分のように課外活動の中でチームメイトとともにゲストハウスに泊まったり大会に参加したりする機会は少なくないと思う。バイエルン州という土地柄から何かあればすぐにビールを飲むことになるが、これが気にならなければぜひ試してみるべきだ。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

提出すべき書類として個人的に苦労したものは思い当たらないが、語学能力の証明には学科の担任による署名が必要だったので、留学前の相談の折に記入してもらった。成績証明書を初めとする英語で書かれた書類は学生課に置かれた証明書発行機で発行できる。寮の契約にパスポートの写真が必要になるので、それよりも前にパスポートを取得しているのが望ましいと思う。

- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

ドイツへの入国に関して、日本国籍の保持者は3ヶ月間以内の滞在が認められ、その間にビザとなる滞在許可(Aufenthaltsurlaub)を取得すればよかった。現地の外国人局への提出書類はケンプテン大学の国際部が準備し、配送するので学生は預金証明と健康保険の証明書を外国人局へ持参し、100ユーロを支払って手続きすればこれで滞在許可の申請は完了する。ただし、EUでは2024年度より事前渡航認証システムのETIASの導入が確定していて、先述の通りスムーズに準備が進まないかも知れない。下調べが重要であるように考える。

- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

これは自分が体験したことだが、協定校に送信したメールにはすぐに返信が付かない上に、ドイツのメール文化として返信がないことで承諾を示すというものがあることから、もしかすると相談していく中で混乱することもあるかも知れない。あくまでも価値観の相違によるものなので、納得できるまで対話する姿勢が大事になる。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)

協定校の紹介する管理会社が提供する寮に宿泊していた。

- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか?(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)

上記の通りである。管理会社が学生向けに用意するフォームに必要な情報を入力していき、宿泊したい部屋のタイプを選んで送信すれば後日契約書がメールにて送付され、そこにサインして返信すると最後に3ヶ月分の支払いをもって契約が完了する。

- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか?

ミュンヘン空港より鉄道(Sバーン、DB)を乗り継いだ。所要時間はおよそ2:00

- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか?交通手段や所要時間を教えてください。

寮が大学に非常に近く、徒歩5分もかからずに通学していた。

- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

フラットという単位の中で5人の住人がそれぞれの部屋を持ちキッチンやトイレを共有する、ドイツでは一般的なアパートの構成となっている。個人の部屋は十分な広さを有し、個人的な冷蔵庫も備え付けられている。他にも留学生が多く居住し、たまにとて賑やかな夜が来る。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥30,000	各セメスターにて支払う92ユーロを記載。
往復航空券代(往復)	¥250,000	LOTポーランド航空を利用し、その往復運賃を記載。
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥180,000	12ヶ月分になる保険料を記載。
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥34,000	滞在許可の申請時の100ユーロとパスポートの発行費用を記載。
計	¥494,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥40,000	為替の変動や、途中での家賃の上昇を含む。
食費/月	¥30,000	その月における外食の頻度により上下する。
その他/月	¥20,000	保険料やTV・ラジオ放映料などを含む。交際費除く。
計	¥90,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	ドイツへの渡航であり、都市部ではないことから。
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

画質は悪いが、ケンプテン大学のシンボル。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

寮の建物を正面から見た様子。

その他、任意の写真



説明文

ハイキングへ行った際に友人らと撮った写真。

その他、任意の写真



説明文

ベルリン旅行中に撮ったビスマルク像。

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学籍番号	bp20046
・ 氏名	天竺脩也
・ 学部	システム工学部
・ 学科(コース等)	システム理工学科
・ 学年(渡航開始時)	三年
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報	
・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	ドイツ
・ 都市名	ケンプテン
・ 留学先大学名	Kempton University of AppliedSciences
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年 (2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2022年九月上旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2023年二月末
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	バイエルン・ミュンヘンの試合を観戦するため
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。(SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取っており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	国際プログラムに在籍していたため

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

英語で開講されている科目を受講。
英語で開講されている電情らしい科目がなくなってしまったので、英語のリスニング、ライティング等の授業を受講した。次セメスターからその言語の授業も縮小されるとのこと。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Business English Conversation	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	ビジネスの場面でも使えるような会話を勉強する。 主にプレゼンや会話の録画で成績を判定する		
科目名②	English Academic Writing	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	「学術的な文章」を英語で書く練習をする。 通常の文章との違い等を学ぶ。		
科目名③	English Effective speaking B2	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	英語で効果的なスピーチをする方法を学ぶ。 プレゼンだけでなく、「相手の話の遮り方」のような討論のやり方等も学ぶ。		
科目名④	German as Foreign Language A1	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	シンプルにドイツ語の授業。 確か留学生は必ず受講する必要がある。 難易度は高め。正直A1レベルではない。 単位を落とした言い訳ではない。		
科目名⑤	Machine Vision Project	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	唯一受講できた英語の電情らしい科目。 3Dvisionの研究室で画像処理を用いて工業的なシステムを完成させる。 自分たちはPythonでOpenCVを用いて曲がった釘とまっすぐな釘を見分けて数えるプログラムを書いた。 Cの経験があるとはいえPython未経験の自分でも活躍できる難易度		
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。
現地の国際部のサポートが手厚く、手続き等に困ることがかなり少ない。セメスター開始前に二週間オリエンテーション期間がある。現地での生活の説明だけでなく、観光にも連れて行ってくれ、セメスター開始後も定期的にイベントを企画してくれる。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)
留学先でやりたいことが明確にあったわけではなく、「自分の選択肢が増えればいいな」くらいのテンションで留学に臨んだが、その目標は達成できた。
語学力はもちろん、コミュニケーション能力や状況把握能力等学べることは非常に多い。個人的には自分の夢がない、やりたいことがわからないような人こそ一度海外を見てみるのが効果的だと思う。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
現地国際部の助けが手厚いので特に苦労した点はなし
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
基本的には国際部の指示にしたがっていれば終わるが、まれに手続きの際に英語が通じないのが難点。
ドイツで滞在許可証を得るには健康保険に入る必要があるのだが、語学力に不安がある人は日本の代理店で渡航前に加入するのが楽
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。
語学力はなくてもある程度生活できるが、あったほうが楽しい留学になると思う。
ケンペンには死ぬほど寒い。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。
(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)
協定校の寮。シェアフラットタイプと個人部屋タイプが選べる。
自分はシェアフラットタイプで、五人で一つのキッチンと二つのシャワールームを共用する。それぞれ自分の部屋はある。
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)
協定校から紹介された。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？
交通手段や所要時間を教えてください。
電車で最寄り駅まで向かい、駅からは車で送ってもらった。所要時間は三時間弱
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。
徒歩五分
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。
自分の部屋はとても広い。
静かさと清潔さはフラットメイト次第などところがある。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥13,000	セメスター料
往復航空券代(往復)	¥250,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥70,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥45,000	健康保険と滞在許可証申請費用
計	¥378,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥40,000	
食費/月	¥40,000	
その他/月		
計	¥80,000	

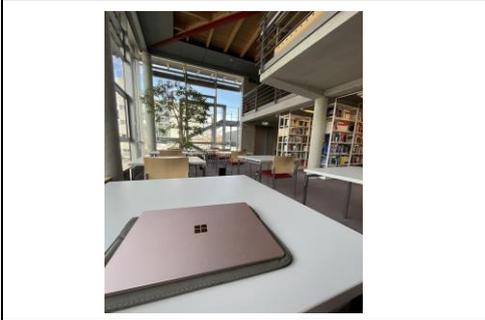
奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

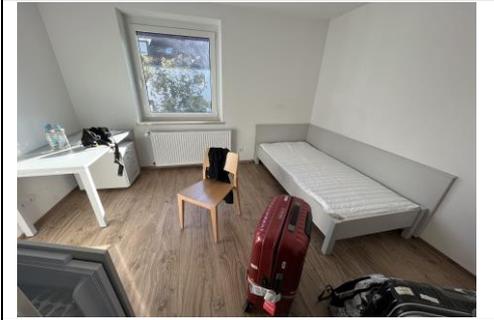
大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

校舎の写真を撮ってなかったため図書館

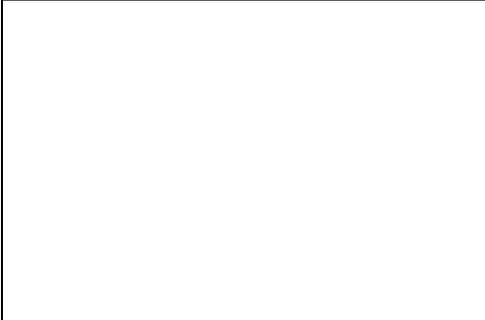
宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

自室

その他、任意の写真



説明文

その他、任意の写真



説明文

ケンプテンを選んだ理由